

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・働き方改革の意義等について、広く保護者や地域に周知するための文書を配付してほしい。
- ・特別支援教育支援員や専科教員等の人員配置を強く希望する。
- ・各種コンクール作品等の募集・取りまとめ、審査を学校や教員に求めないよう要望した。
- ・２学期制について、検討委員会を設置して協議していく。

視点２ 自校での取組

- ・休み時間の児童看護を教務部（担任外）で行い、担任の事務処理時間を確保している。
- ・教材（ドリル）活用の見直しにより、丸付け時間の縮減を図っていく。
- ・各種行事の見直しと、次年度への引継ぎのための資料の蓄積に努めている。
- ・作品等へのコメント記入を無しにしている。
- ・時間割表の中に各種会議を位置づけ、放課後の時間を確保している。（中学校）
- ・月曜日の他に、隔週で水曜日の部活なしを設定している。（中学校）
- ・健康観察アプリの導入で、児童生徒の健康観察の効率化を図っている。

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- ・県校長会の研修の在り方を抜本的に見直してはどうか。
※11月の忙しい時期に集合して研修するよりも、各地区により実情や課題が違うので、各地での研修を充実させたほうが良いと考える。（他地区との情報交換も大事だとは思いますが）
- ・県学校長会研修会が次年度も行われるのであれば、「時間外勤務を改善するための働き方改革について」